

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)	◎	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除に伴い、時短要請やアルコール提供制限も全面解除され、大学などの対面授業も始まったため、駅周辺の人出が格段に多くなっている。飲食施設や観光施設などの営業も通常に戻り、宿泊の需要喚起策の再開で、観光客の先行予約も増加している。宴会需要の変化は余りないが、キャンセルは減少している。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・売上は増加していないが、新型コロナウイルスの感染が落ち着き、人の動きが出てきて、来客数も増加している。
	○	商店街（理事）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客が買物や外出を控えていたが、新型コロナウイルスが少し落ち着いてきたので、景気がやや良くなっている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・人出が増え、客の購買意欲も回復している。
	○	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	単価の動き	・売上にはつながっていないが、客の動きが徐々に良くなっている。
	○	一般小売店〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・既存客が戻り、新規客も出てきている。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、緊急事態宣言が解除されたため、来客数は前年に届かないものの、前月と比べると改善している。
	○	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少と気温の低下が重なり、月半ばより衣料品を中心に状況が大幅に改善しつつある。
	○	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種の効果で新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に減少してきたため、来客数が増加し、客の購買意欲も上昇している。
	○	百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少と冷え込みが重なり、婦人衣料を中心に売上が回復傾向にある。各地でイベントも開催されるため、年末商戦に向け期待できる。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数が上向いており、客単価も高水準が続いている。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除以降、各種イベントや行楽等の増加や気温の低下の影響で、衣料品を中心に、客の買上点数が増加してきている。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが落ち着いてきて、来客数や来店頻度が増加している。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・9～10月にかけて来客数が回復してきている。
	○	コンビニ（支店長）	お客様の様子	・明らかに週末の来客数や売上が増加している。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、イベントが再開し、旅行客が増加しており、緩やかではあるが、朝や昼を中心に来客数が回復している。
	○	衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除で、今まで外出を自粛していた客が来店するようになっている。旅行や観光などを計画している客もいるので、今後も新型コロナウイルスの感染が落ち着いた状態が続けば、売上の改善が見込まれる。
	○	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除で、景気はやや良くなっている。
	○	その他専門店〔土産物〕（経営者）	来客数の動き	・県の旅応援割が始まり、個人客が増加し、観光バスも来るようになったため、来客数が増加している。

○	その他小売 [ショッピング センター] (支 配人)	お客様の様子	・緊急事態宣言や時短要請が解除され、今月は週を迫うごとに来客数が増加し、売上も改善傾向にある。新型コロナウイルスの新規感染者数の全国的な減少による安心感から、広域からの来店、飲食の利用も増えつつあり、現時点で景気は上向きに転じている。
○	高級レストラン (事業戦略担 当)	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、徐々に客が戻ってきている。自治体独自の観光支援策の開始時には多くの問合せがあり、自粛明けに出掛けたいと思っている客が多くなっている。
○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数が増加してきており、前々年の水準にはまだ戻っていないが、良い傾向になりつつある。
○	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・ディナータイムの状況は良くないが、10月の売上は8～9月と比べ、増加傾向にある。
○	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから客の流れが良くなっている。以前の自粛解除のときよりも客の戻りが早く、ランチタイムに関しては新型コロナウイルス流行前の状況に戻ってきている。
○	バー (経営者)	来客数の動き	・営業を再開したため、景気はやや良くなっている。
○	観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、県民限定の応援割が始まり、来客数が徐々に伸びてきている。
○	観光型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・県の観光誘客促進事業が始まり、宿泊の予約の問合せが多くなったことや、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少で飲食店の時短営業が解除されたことなどで、昼間の宴会の予約が徐々に増加してきている。
○	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後に、県の飲食店営業時間の規制が解除された直後からレストラン利用が増加するなど、人の動きが出てきている。
○	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・9月末より緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の一斉解除が報道され、予約が増加傾向にある。停止していた自治体支援策の再開により、地元県民だけでなく、関東方面からの予約も動き出している。
○	旅行代理店 (支 店長)	販売量の動き	・県を始め各自治体が旅行割引を開始したことで、旅行需要が動き始め、申込みが増加している。
○	タクシー運転手	お客様の様子	・ワクチン接種の効果で、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、新型コロナウイルス感染に関わる規制が緩和され、人々の動きが活発になりつつある。現状は選挙の影響か期待したほど景気は活発化してないが、選挙が終わると良くなる。
○	タクシー運転手	お客様の様子	・県内だけでなく、県外からのビジネスマンや観光客の利用が増加しており、夜の外出者も増えている。
○	タクシー運転手	お客様の様子	・夜の街にもぎわいを取り戻し、3か月前よりも景気はかなり良くなっている。
○	放送通信サー ビス (総務経理担 当)	お客様の様子	・一時期より利用料金延滞者数や利用料金延滞金額が少なくなっている。
○	通信会社 (営業 担当)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除となり、契約商品の単価が上がりつつあること、休日の外出者が増加していることから、景気に浮揚傾向がみられる。
○	通信会社 (企画 担当)	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除で、土日の日中の交通量は格段に増加している。店舗の来客数が回復しているかまでは確認できていないが、商品やサービスへの問合せ件数は3か月前と比べると、増加している。
○	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・客が徐々に戻りつつある。
○	観光名所 (管理 担当)	来客数の動き	・10月にまん延防止等重点措置が解除され、レストラン営業が再開されたが、法要絡みの10名以上の宴席や宿泊申込みが増加してきている。
○	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・様々な制限が解除され、客が明るくなっている。
○	住宅販売会社 (営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて以降、来客数が増加している。
□	商店街 (代表 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が全国的に減少しており、このまま減少が続けば、商店街の人通りも回復する。
□	商店街 (代表 者)	お客様の様子	・客が商品を見に来るが、購買につながっていない。

<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が少し落ち着いてきているが、警戒感が強すぎて、依然として、経済活動の動きは鈍い。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・プレミアム付商品券やプレミアム付商品券に代わるキャッシュレス決済の補助により今月は非常に好調に推移したが、キャンペーン終了後は反動で落ち込みが激しくなる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・売上は9月末時点累計で令和2年度の売上を下回っている。特に8～9月の売上が悪くなっている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔印章〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は下げ止まったが、再び増加する不安がある。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・60代より上の世代の来客数が以前よりも減少している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されたが、急激な変化はなく、売上も前年を下回っている。物産展の開催で集客を見込んだが、期待したほどではなかった。観光部門はやや回復傾向になってきている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除以降、来客数が回復することを期待していたが、来客数も販売量も増加していない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除で、にぎわいが戻ると思ったが、来客数は前年割れとなり、売上も伸びていない。気温の変化もかなり影響しており、月の前半は重衣料の動きが鈍かったが、後半からは週末を中心に動き始めている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の減少が続き、回復の兆しがない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価に変化がなく、好調に推移している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・前年は地域振興策のプレミアム付商品券の影響で大幅に売上を伸ばしたが、本年はプレミア率が下がり、その恩恵が薄くなっている。ただ、販売点数は維持できている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍で、客が外出を控え、景気の悪い状態が続いている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、一安心ではあるが、客の消費意欲は冷え込んだままである。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	販売量の動き	・来客数は改善傾向にあるが、冷蔵庫やテレビなどの大物商材の売行きは悪く、3か月連続で売上の前年割れが続いている。暖房器具が売れ出したことだけがプラス要因となっている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年の7割程度にとどまっているため、売上も落ち込んでいる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されても、半導体不足の影響が続き、売上につながらない。また、ガソリン価格の値上げが客の自動車購入意欲に影響を与えている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、来客数は余り増加しておらず、販売台数も前年並みである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・10月の販売台数は前年比116%であったが、前年が新型コロナウイルスの影響で悪すぎたので、決して良くなっているわけではない。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・売上が余り増加することがなく、低位安定している。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除後も一般消費者の需要は落ち込んでいる。法人客も訪問営業が激減しているため、営業車のメンテナンスも減少傾向である。また、半導体不足で新車需要も伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔布地〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、週末の出入が良くなり、少しではあるが、消費が動くようになってきている。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、景気も少しずつ回復するのではという期待感はあるが、来客数や客の購買意欲は、依然として、下げ止まっている。

□	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているが、依然として、客に不安が残っている。
□	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、月の上旬は景気が悪かったが、少しずつ回復してきている。
□	通信会社（経理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客も慎重になっているため、景気に変化はない。
□	通信会社（工事担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が続いているため、景気に変化はない。
□	テーマパーク（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス関係の制限が解除されたが、新たな政策が出てこないため、景気に変化はない。
□	ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・天候にも恵まれ、直近の予約が増加している。ただ、個人客は増加しているが、コンペがまだ少ない状況である。
□	競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・1日平均の販売量に変化がない。
□	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数がかかなり減少しているが、景気はまだ様子見といった状況である。
□	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・間合せの件数は増加傾向にあるが、来場につながらず、契約にも結び付いていない。
□	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの流行から現在まで、新築住宅の引き合いが低迷している。
□	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍で来客数が減少している時にリフォーム工事をおきたいと考える客もいるので、忙しくはないが、仕事は途切れていない。
▲	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・ブランドの紳士服は売れているが、高額なラグジュアリーは売れず、景気はやや悪くなっている。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は増加しているが、販売量が減少している。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・今月に入り、来客数が前年を下回っている。
▲	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・10月1日のまん延等重点措置の解除により、外食が増加したため、来客数や売上が前年を下回っている。
▲	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・客単価が少しずつ低下している。
▲	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・現在、いろいろな物が値上げし、来年にかけても続くため、客の買い控えが増加する。
▲	家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・販売量の減少で、景気はやや悪くなっている。
▲	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型車が投入されたが、来客数はさほど多くなく、メンテナンスで部品の交換を提案しても、交換を見合わせる客が多い。
▲	通信会社（広報担当）	来客数の動き	・まだ以前のような人流には戻っていない。
▲	住宅販売会社（営業所長）	単価の動き	・資材単価の高騰の影響で、高額商品、高性能商品の販売が鈍くなっている。ガソリン高騰等、家計直撃の要因もあり、年末に向け不安がある。
×	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・寒暖差が激しく、秋商材の販売期間が極端に短くなったため、売上は前年比79.0%、来客数は前年比89.2%となっている。また、近郊にある本店と同チェーンの大型店舗がリニューアルオープンしたことで集客面に大きな影響が出ている。
×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスや前年8月の競合店の出店の影響で1年間悪い状況が続いていたが、ようやく競合店の出店の影響がなくなり、ワクチン接種の進展で新型コロナウイルスも少し落ち着いてきたため、9月の景気は前年より良くなっていた。ただ、10月に店の前の道路で上水道の工事が始まって以降、来客数が極端に減少している。
×	その他専門店 [時計]（経営者）	来客数の動き	・気候等の影響で高齢者の来客数が減少している。
×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言が解除されても、人の動きが良くなっていない。
×	美容室（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の影響で、客の外出が減り、来客数も減少している。

企業 動向 関連	◎	輸送用機械器具 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・今まで良くなかった景気に明るい兆しが出ている。
(中国)	○	化学工業（総務 担当）	取引先の様子	・脱炭素の動きが感じられるものの、ワクチン接種が進んだことにより、一定の景気回復基調が見受けられる。
	○	窯業・土石製品 製造業（総務経 理担当）	受注量や販売量 の動き	・鉄鋼業向けの大口案件の納期対応も重なり、製造現場は非常に多忙な状況となっている。
	○	輸送業（支店 長）	受注量や販売量 の動き	・商品構成の見直しにより、電子商取引の需要が増加している。また、荷物が小型化し、多品種多頻度の発送やネット通販の需要も増加している。
	○	通信業（営業企 画担当）	取引先の様子	・ICT関連やデータセンターに関する引き合いは以前と比べ、増加してきている。取引先も計画どおり動いており、景気は少しずつ良くなってきている。
	○	広告代理店（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少している状況で、客からの受注量が少しずつ上向きになっている。
	□	農林水産業（従 業員）	受注量や販売量 の動き	・緊急事態宣言が解除され、料理屋の営業が再開したが、依然として、活気がなく、まだまだ回復には時間が掛かる。
	□	食料品製造業 （総務担当）	受注価格や販売 価格の動き	・販売価格を引き上げても、それ以上に原料費が高騰しているため、非常に厳しい状況が続いている。
	□	木材木製品製造 業（経理担当）	受注量や販売量 の動き	・緊急事態宣言が解除され、景気は回復傾向にあるが、資材価格、石油製品価格、運送費などのコストも上昇傾向にあり、利益的には厳しい状況が続いている。
	□	鉄鋼業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・受注の拡大傾向に陰りが出ている。
	□	非鉄金属製造業 （業務担当）	受注量や販売量 の動き	・電子材料関係の受注は高位安定、金属価格は高値で推移している。
	□	電気機械器具製 造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・半導体や電子部品等の供給不足はあるものの、次世代通信規格である5G市場関連の設備投資が増加していることから、売上は堅調に推移している。
	□	輸送業（総務・ 人事担当）	受注価格や販売 価格の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているが、景気に変化はない。
	□	金融業（貸付担 当）	取引先の様子	・ワクチン接種が進み、人流や消費が活発になりつつあるが、総体的に企業の業績が回復したとは言い難い。
	□	金融業（融資企 画担当）	取引先の様子	・世界的半導体不足により、地元完成車メーカーの国内生産が大幅に減少し、系列の地元部品メーカーの受注も3～4割低下している。このため、操業も定時操業に達せず、工場を計画停止する企業も多い。
	□	会計事務所（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・コンサルティング案件、特に事業再構築補助金等取得支援分野などが堅調に推移している。アウトソーシング受託案件も人手不足を背景に増加している。
	▲	食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・月の中旬まで真夏の様相で、季節商材の販売がかなり低迷し、中旬以降徐々に回復したが、厳しい状況である。
	▲	金属製品製造業 （総務担当）	それ以外	・主原料である鉄スクラップの価格が大幅に上昇している。発生量が少ないため、価格を上乘せしないと購入できない状況である。入手できなかった同業他社は仕事があるにもかかわらず、休業していると聞いている。
	▲	建設業（総務担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・物件数は多く、技術者の空きを考えながらの対応が必要な状況であるが、資材の納期遅延や価格上昇を心配している。
	▲	輸送業（総務担 当）	取引先の様子	・半導体不足による自動車メーカーの生産の減少や燃料単価の高騰のあおりを受けている。
	▲	不動産業（総務 担当）	それ以外	・前月と比べ、来客数や成約件数が微減となっている。
	×	輸送用機械器具 製造業（経営企 画担当）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルス禍の現地操業の低下や半導体不足の影響で、海外からの部品供給が滞っているため、客からの受注が大幅に減少している。

雇用 関連 (中国)	◎	求人情報誌製作 会社（広告担 当）	求職者数の動き	・採用予算や採用人数が変化していない。
	○	人材派遣会社 （支店長）	求職者数の動き	・直近3か月は、求人に対して、求職者の動きが少ない傾向があったが、今月は徐々に動きが出ている。新型コロナウイルスの感染が落ち着いたことで、応募数やエントリー数が増加してきている。
	○	求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・飲食店を始めとして、求人数は着実に増加している。
	○	職業安定所（所 長）	求人数の動き	・新規求人数は製造業で前年同月比5割の増加となっている。これは輸送用機械器具製造業で、ロックダウンの影響によりベトナム工場で生産できず、一時的に日本国内で製造することにした企業が大幅に求人を増やしたためであり、求人数全体でも2割の増加となっている。
	○	民間職業紹介機 関（求人・人材 採用担当）	求人数の動き	・飲食業やサービス業の求人が徐々に増加するなど、求人数が増加、人手不足感も出始めている。
	○	その他雇用の動 向を把握できる 者	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着きつつあり、今後、飲食業やサービス業の求人数が増加する。
	□	人材派遣会社 （支社長）	採用者数の動き	・求人数、求職者数共に新型コロナウイルス流行前の水準に戻ってきている。ただ、企業の採用ハードルの上昇などを受けて、採用者数は新型コロナウイルス流行前の7割程度で、今後もこの傾向が続く。
	□	人材派遣会社 （経営戦略担 当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルス感染症が終息し始めているものの、企業の採用姿勢にはまだ大きな変化は現れていない。
	□	職業安定所（事 業所担当）	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除され、新規求人数の増加を見込んでいたが、前年同月比で大幅な増加となっていない。業種別では、建設業、宿泊業、飲食サービス業が減少となっている。
	□	職業安定所（雇 用関連担当）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月と比べ、21.4%増加している。県内宿泊キャンペーンや緊急事態宣言の解除により、予約が入りつつあり、宿泊・飲食業の新規求人数は前年同月と比べ、17.8%増加している。ただ、平日は予約が少なく、前年の予約状況に及んでいないため、本格的に景気が上向いているとは言い難い。
	□	民間職業紹介機 関（職員）	採用者数の動き	・求人数は増加傾向にあるが、様子見のなところがある。
	▲	新聞社〔求人広 告〕（担当者）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響で、個人消費は百貨店、スーパー、家電のいずれも弱い動きであり、観光の回復ももう少し時間が掛かる。また、自動車も供給力不足で半年ほど様子見となる。
×	—	—	—	